

ご挨拶

大阪教育大学 藤田大輔

大阪教育大学で「安全教育学」や「学校安全」等の講義を担当すると共に、学長補佐(学校安全担当)及び学校安全推進センター長を併任しております藤田大輔です。昨年度に続き、大阪府安全なまちづくり推進会議に、学識経験者として参画させていただき機会をいただき大変光栄に存じております。

皆様ご存知のように、大阪教育大学では、20年前の平成13年6月8日に、附属池田小学校で、一人の不審者の侵入を防ぐことができなかったために、8名の児童の尊い命が奪われ、13名の児童と2名の教員が重傷を負わされるという痛ましい事件を経験いたしました。私は、その附属池田小学校で、事件6年目となる平成19年から4年間、学校長を併任し、事件の反省と教訓を基盤とした事件後の附属池田小学校における安全教育と安全管理の再構築とその成果の発信に取り組んで参りました。また学校長の任期終了後は、国の中央教育審議会の学校安全部会委員や文部科学省の学校安全に関わるいくつかの有識者会議委員を務め、わが国の学校の安全推進に関わる活動に参画させていただいております。今回この紙面を借りて、私が現在取り組んでおります「学校と家庭・地域が連携・協働した安全推進」に関わる取り組みとしての「セーフティプロモーションスクール(SPS)」の活動についてご紹介させていただきたいと存じます。

SPSとは、附属池田小学校事件の反省と教訓を出発点とし、「自助・共助・公助」の理念のもと、わが国独自の学校安全の考え方や「共感と協働」の視点を基盤とする包括的な学校安全の推進を支援することを目的として独自に構築した認証制度です。平成27年3月に、大阪教育大学附属池田小学校と大阪教育大学附属池田中学校並びに東京都台東区立金竜小学校をSPSに認証し、その後、平成28年度からは文部科学省の事業に位置付けていただき、国や都道府県・市町村教育委員会の支援を受けつつ、国内外においてSPSの認証活動を展開しているところです。令和3年4月末時点で、SPSの認証・認証支援校数は、日本国内で計38校園(大阪府下で16校園)となっております。またSPSの考え方に賛同した中華人民共和国、イギリス、タイ王国、台湾など海外の学校園の参加を含めると、国内外で計115校園がSPS活動に参加しております。この普及活動の結果、令和2年7月に発刊された「令和元年度版 文部科学白書」や、同じく令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2020～危機の克服、そして新しい未来へ～」いわゆる「骨太の方針 2020」にもSPS活動が紹介されております。

SPSでは認証の第1指標として、「学校内に、学校安全コーディネーター等を中心とする学校安全推進のための学校安全委員会が設置されている」ことを規定しておりますが、この学校安全委員会の構成員として、教職員以外に、「チーム学校」を構成する「安全協働人材」であるPTAやスクールガード等の地域住民の方々の参加を推奨させていただいております。「大阪府安全なまちづくり推進会議」関係者の皆様は、すでに地域連携の実践として防犯ボランティア等の見守り活動に取り組んでいただいているところですが、今、目の前にいる子どもたちが10年20年先に大人となり保護者となった時に、次代の大阪の安全・安心を担う「安全協働人材」へと成長してくれることを願ったSPS活動にもご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。